



ユネスコ

ユネスコ(UNESCO・国際連合教育科学文化機関)は、United Nations Educational, Scientific and Cultural Organizationの頭文字を取った呼称。諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関です。

ユネスコ憲章(前文)には、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」と、その理念が述べられています。



基調報告・講演(カンボジア支援)や
体験発表(豪州・姉妹校との交流)
コーアクション(世界寺子屋運動募金活動)も

高校生国際理解セミナー

広島ユ協と広島市青少年センター主催の「高校生国際理解セミナー」が、12月23日(日・祝日)、中区袋町の合人社ウエンディひと・まちプラザで行われました。

この日は30名を超える高校生たちに加え、広島大学ユネスコクラブの大学生、広島ユ協会員らも参加しました。基調講演で安田女子大学4年の光井佑希さんが、「カンボジア王国における貧困家庭児童の教育支援活動報告」と題し、「ひろしまハウス」での教育の現状と体験を話されました。

続いて、広島県立安古市高校1年の牧本武蔵さん、寺坂郁彦さん、大久保帆夏さんが豪州の姉妹校(セント・ジョーンズグラマー・スクール)との交流を通して学んだことについて発表されました。

意見交換会では広島大学附属中・

高校の藤原隆範教諭のリードで、カンボジア報告を踏まえた上で、日本の教育との比較などについて感想やまとめを発表、実り多いセミナーとなりました。

また午後からは、市内中区の天満屋ビル前の街頭で、コーアクション(世界寺子屋運動募金活動)を行いました。募金額は61,165円でした。25日に日本ユ連盟に送金しました。

2018・12・23

受賞者の皆さん おめでとうございます

2019新春フェスタ

活動奨励賞 表彰式



広島ユ協主催（後援・広島市教育委員会協力・一般財団法人多山報恩会）の「新春フェスティバル」が、1月26日（土）に、晴れやかに開かれました。

第1部「活動奨励賞」授与式では、学校・社会部門合わせて7団体が表彰されました。続いて「新春コンサート」では、ヴァイオリンとピアノが演奏されるとともに、祝賀・交流会では奨励賞受賞団体「車いすダンスくらぶ」のダンスも披露されました。

【学校部門】

○広島市立神崎小学校（校長 高西 実）

「笑顔輝け！神崎っ子運動」と名付けて、学校・家庭・地域が目指すべき子ども像を共有し、三者の連帯と信頼のもとに児童の健全育成に取り組んでいる。



○広島市立三入中学校（校長 竹下 雅祥）

地域住民や団体の協力・支援を受けて積極的に「防災教育」に取り組み、生徒に防災への知識や自覚を育てるとともに、地域への参画意識を培っている。



○広島県立安古市高等学校（校長 船津 久美）

国際的な視野と変化の激しい社会に対応することのできる能力や態度を育てる多彩な活動に取り組み、グローバル社会に貢献できる生徒の育成に努めている。



○公立大学法人広島市立大学 S2（学長 青木 信之）

平和記念公園における碑巡りや灯籠流しなどの平和活動を行うとともに、大学食堂や食文化のイベントなどを通して発展途上国への児童給食支援に取り組んでいる。



【社会部門】

○広島車いすダンスくらぶ（会長 赤穴 寿子）

障害者の社会参加や障害者への理解を促すとともに、バリアフリーな社会の実現を目指し、車いすダンスによる劇場公演や施設訪問、無料講習会などを推進している。



○たつじんくらぶ（代表 吉原 通庸）

能楽、日本舞踊、長唄、三味線、茶道、落語など日本の伝統文化・芸能を子どもたちに伝える活動や発表会などを開催し、子どもたちに和の心を育てている。



○一般社団法人広島ハノーバー友好協会（代表 井内 康輝）

広島市とハノーバー市との間で青少年の相互訪問、文化活動の交流、経済活動の交流など人的交流を推進し、姉妹縁組を結んでいる両市の友好関係に寄与している。



＝ 7 団体活動紹介文まとめ 湯浅克廣教育部会長

～ 広がる交流の輪 ～

2019新春フェスタ

コンサート
祝賀・交流会



車いすダンスと舞踊 (広島車いすダンスくらぶ)



ヴァイオリン 市山信子さん

ピアノ 折重由美子さん



杉並ユ協のヒロシマ平和学習

3月26日(火)に、杉並ユネスコ協会のヒロシマ平和学習会を、平和記念資料館メモリアルホールで開催します。被爆体験講話(午後2時30分～3時30分)は、元広島平和記念資料館館長の原田浩さんが講師です。若者意見交換会(午後3時40分～4時40分)で

は、沼田高等学校、安田女子高等学校生などと高校生平和大使、杉並ユ協青年部が、廣大附属高校の藤原隆範先生の司会により、平和について語り合います。ご多用の中恐縮ですが、ご聴講のほどよろしくお願い申し上げます。

(平和・世界遺産部会長 内田一士)

ユネスコサロン

「花火のあれこれ」

講師 牛尾煙火製造所
取締役 牛尾彰彦氏

第176回ユネスコサロンは3月2日(土)、国際会議場3階研修室で開催されました。演題は「花火のあれこれ、アラカルト」。講師の株式会社牛尾煙火製造所代表取締役・牛尾彰彦氏からは、サブタイトル「花火について、知っているようで知らないことや、ウラ話を教えます」の流れに沿って、花火の歴史や原料・製造方法、花火の玉の名前である「玉名」の話、花火の打ち揚がる仕組み、花火筒の解説、花火師の資格、現場での苦労話や豊富な体験などについて、興味深く楽しく講演をしていただきました。

牛尾氏は、広島みなと夢花火や呉海上花火大会など県内各地の花火大会をはじめとする、イベントの企画・



プロデュースに参画。公益社団法人・日本煙火協会広島地区会代表、一般社団法人広島県火薬類保安協会監事。広島県中小企業家同友会東支部役員(地区会長)などを務めておられ、平成29年には広島商工会議所から、創業110周年の永年継続表彰を受けられています。

「高橋昭博平和祈念賞」

松山ユネスコ協会が
作文コンクールで創設

松山ユネスコ協会は、『心の中に平和』エッセイ・作文コンクール』の主催に当たって、2018年度から、元広島原爆資料館長・同広島ユネスコ協会副会長の名前を冠した、第1回「高橋昭博平和祈念賞」を創設し、表彰式が昨年12月24日に松山市内で行われました。

「作文コンクール」は、松山ユ協が小学生、中学生、高校生を対象に毎年募集している企画事業で、14回を迎えます。表彰には入賞、学校賞などの授与があり、今回は新たに核兵器廃絶・平和を訴え続けた故・高橋さんの功績を顕彰する形で、「高橋昭博平和祈念賞」を新設、応募作品の中から「原爆に関する平和作文」で、「特に優秀な作文」を表彰することにしました。

2018年の応募作品は147編。「祈念賞」には、最優秀賞(松山ユ協会長賞)にも選ばれた中村康太さん(松山市立東中学校1年=写真)が、ダブル受賞しました。

創設に努めて来られた松山ユ協青年育成部長の有光慶眞さんは「この賞が修学旅行の平和学習につながるきっかけとなることを願っています。平和を次の世代に繋いで行きたいと思っています」と、期待の声を寄せておられます。(写真は松山ユ協提供)



＜書き損じはがき集めています＞

(社)日本ユ協連盟では地球のたからものを守る「世界遺産活動」をはじめ、すべての人に教育のチャンスを広げる「世界寺子屋運動」や「一杯のスプーン」「未来遺産」などさまざまなユネスコ活動を行っています。

広島ユ協は、世界寺子屋運動支援の活動として、書き損じはがきを集め、日本ユ協連盟に送っています。

この書き損じはがき(62円のはがき)は、一枚で57円の募金となります。ぜひ広島ユ協事務局まで送ってください。

送り先 〒730-0036 広島市中区袋町6番36号
広島市まちづくり市民交流プラザ
メールボックス89号気付

＜新会員紹介＞ (2018・11～2019・2 敬称略)

森田 昌樹

＜会員募集＞

ユネスコの精神に賛同し、協会の活動に参加したり、支援をしていただける方を募集しています。年会費(個人会員の場合)3,000円。青年(～35歳以下)は2,000円。申込先: 森木事務局長090-7132-2284、又は広島ユネスコ協会HPから検索。当協会URL: <http://www.unesco.jp/hiroshima/> 入会案内へ。

日 誌	(2018・11～ 2019・2)	会広島訪問受け入れ (国際部会)
＜'18年11月＞		＜12月＞
6日/広島ユネスコ活動奨励 賞選考委員会 (教育部会)		16日/広島県ユネスコ大賞表 彰式 (教育部会)
18日/国際フェスタ2018 (国際部会)		23日/高校生国際理解セミ ナー・コアアクション (青少年育成部会)
23日～26日/ユネスコ大邱協		〃 /広島ユネスコ活動奨励 賞 受賞団体の活動紹介文等

の作成 (教育部会)	賞授賞式 (教育部会)
＜'19年1月＞	26日～2月1日/杉並ユ協の ヒロシマ平和学習の開催通 知、ポスターを7つの高等 学校へ送付 (平和・世界遺産部会)
12日/大邱協会広島訪問受け 入れ事業及び18年度反省会 (国際部会)	＜2月＞
16日/新春コンサート打ち合 わせ (文化部会)	7日/機関紙103号・紙面検 討会議 (広報部会)
26日/新春コンサート (文化部会)	
〃 /広島ユネスコ活動奨励	